

1. 評価報告概要表

作成日 2007年11月29日

【評価実施概要】

事業所番号	1070201627
法人名	株式会社ケア・グループ
事業所名	グループホーム花丘
所在地	群馬県高崎市南大類町1307-6 (電 話) 高崎市南大類町1307-6
評価機関名	特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12
訪問調査日	平成19年11月22日

【情報提供票より】(19 年 11月 1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 5人, 非常勤 4人, 常勤換算	6人

(2)建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建て	1 階 ~	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費 電気器具居室持込
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4)利用者の概要(11月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	2 名	要介護2 4 名	
要介護3	3 名	要介護4 2 名	
要介護5	0 名	要支援2 0 名	
年齢	平均 83 歳	最低 73 歳	最高 96 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	高崎中央病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは閑静な住宅地にあり、昼の部屋が配置され、共用空間には季節の花が活けられ、職員は穏やかで落ち着いた対応で家庭的な雰囲気を醸し出している。隣接した敷地の畑で野菜の有機栽培を行い利用者と共に収穫し、当日の食材として使用し食事を楽しんでいる。介護計画は利用者や家族を交え話し合い、その要望や意向を反映し作成され、看護師や栄養士が配置され、利用者の状況に応じ、安心して、楽しく、快適に過ごせるよう、栄養面や健康面に留意し、介護計画に沿った充実した支援が行われている。また、家族会が結成され、要望や意見が運営に反映されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価の結果は、職員会議で話し合いその意義を理解している。前回の改善点としてあげられた、定期健康診断については市の「みどりの検診」を受診し、入浴拒否の利用者には、翌日入浴か午前・午後の入浴等柔軟に対応している。また、プライバシー保護の観点からドアが開放されている居室にはのれんをかけている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	自己評価は、管理者が中心となってまとめ、ポータブルトイレの使用、徘徊者の介護について検討しその改善に取り組んでいる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	運営推進会議は、ホームからの運営状況や評価についての報告、民生委員からの地域の情報等の提供、家族からの要望について話し合われている。会議での家族の意見を取り入れ、ケース記録を提示し利用者の状況を説明したり、家族も参加する花見やリンゴ狩り等の行事開催に取り組んでいる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	家族会等での意見・要望を反映し、ケース記録に基づく利用者の状況説明を行い、家族の不安の解消に努め、居室間違いの防止に各居室に利用者の名札の他顔写真を掲示し、利用者や家族からわかりやすいように介護員の顔写真を壁に貼り名札を胸に掲げる等の改善に取り組んでいる。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目⑤	ホームが行う花火には近隣の人々が参加したり、中学校の体験学習を受け入れているが、自治会や老人会の行事には参加していない。また、小学校の運動会に招待されるが遠距離のため参加していない。

2. 評価報告書

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念が4項目立てられ、その1項目に「地域との触れ合い」が掲げられ、地域密着型サービスについて職員会議で話し合い、住み慣れた地域生活を維持し、隣人との触れ合いを大切にし、健康で快適な生活が送れるよう心がけている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を事務室やホールに掲示し、朝夕の申し送りや職員会議で確認し、利用者の状況に応じ、安心し、楽しく、快適に過ごせるよう、健康面に留意し、優しさを持った介護に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、回覧板は廻ってきており、ホームが行う花火には近隣の人々が参加したり、中学校の体験学習を受け入れているが、自治会や老人会の行事には参加していない。また、小学校の運動会に招待されるが遠距離のため参加していない。	○	自治会、老人会の行事や地域活動に参加し、地元の人々との交流が促進されるよう期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果は、職員会議で話し合いその意義を理解している。前回の改善課題としてあげられた、定期健康診断については市の「みどりの検診」を受診し、入浴に関しては、週2日から週7日の入浴日とし、入浴拒否者には午前午後好きな時間に入浴出来よう改善に取り組んでいる。また、自己評価ではポータブルトイレの使用、徘徊者の介護について検討し、その改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、外部委員は民生委員、市職員、家族より毎回3名ずつ3組がローテーションで参加している。会議では、ホームからの運営状況や評価についての報告、民生委員からの地域の情報等の提供、家族からの要望について話し合われている。会議での意見を取り入れ、ケース記録を提示し家族に利用者の状況を説明する。また、家族も参加する花見やリンゴ狩りの行事開催等に、取り組んでいる。会議の内容は、職員会議で報告され、家族には推進会議録を開示している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームは、役所からの指示・監督を受ける側と理解し、代表者がパンフレットを持参し、新たなグループホームの設置に向け各種情報の収集を行っている。しかし、職員が市役所と行き来する機会はない。	○	市と連携を図り、サービスの質の向上に取り組むよう期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回、利用者の近況等を状況報告書を作成し、毎月開催する花見やリンゴ狩り等行事の写真も、家族に報告している。緊急時には、電話で報告している。また、家族等の面会時は、利用者のケアサービスの状況等についてケース記録を提示し、説明している。家族会会議では、運営状況等を説明している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。運営推進会議や家族会の意見・要望は検討し、ケース記録に基づく利用者の状況説明をする、居室間違いの防止に各居室に利用者の名札のほか顔写真を掲示する、利用者や家族にわかるように介護員の顔写真を壁に貼り名札を胸に掲げる等の取り組みをして、サービスに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者や家族が安心して日常生活が送れるよう、管理者や職員の異動時は顔写真入りの経歴書を配布し紹介すると共に、新規採用職員の場合は胸に名札を付け自己紹介を行い、利用者と席を頻繁にして一日も早く馴染むよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者が研修計画を作成し、新規採用職員には初任者研修の受講等職位に応じた外部研修を受講し、職員会議等で研修報告を発表している。また、内部研修として、ヘルパーの心得、口腔ケア等について随時行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入し、西毛地区における相互交流研修等各種研修に参加すると共に、情報交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	殆どの利用者が病院から直接入居するため、入居時に本人や家族と話し合い、職員は名札をつけ利用者の隣に座り話をするなどして、安心して快適に日常生活が送れるよう、生活暦を聞き取り、徐々にホームの生活になれるよう対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の出来る範囲で、配膳や下膳、食事の後の清掃を、職員と一緒にしている。また、職員は折り紙や野菜作りなどを利用者から教えてもらっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の学歴・職歴・趣味等を把握し、利用者の意向を優先し対応している。また、意思疎通の困難な場合は、家族から要望や意向を聞き、利用者の暮らしに取り入れている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3ヶ月に1回、ケアマネージャーを中心に利用者、家族、職員を交え話し合い、要望や意向を反映した計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、3ヶ月に1回見直しがされている。介護記録等から介護計画に沿った日々の生活支援が読みとれ、緊急時等には直ちに見直しが行われ、その状況が記録されている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時等に、家族が宿泊出来る体制をとっている。家族や利用者の状況に応じ、病院への送迎は職員が柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望するかかりつけ医を受診できるよう、職員が送迎の支援を行っている。また、月1回協力医療機関の往診をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合は、早期から家族や協力医療機関との話し合いが持たれ、医師の往診、医師の指示の下で看護師による点滴等の対応、夜間救急時の受け入れが円滑に行われている。終末期については、話し合いは行われている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	介護日誌等の書類は、事務室に保管管理されている。また、居室ドアの開放を希望する利用者の入口にのれんを使用したり、食事介助や排泄誘導の際の職員の言葉かけも利用者のプライバシーを損ねない配慮が見られる。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの「出来ること、出来ないこと」を、アセスメントシート(課題分項目)に記載し全職員が把握し、支援している。ホールでは、利用者が個々に折り紙や塗り絵を楽しまれている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	隣接している畑の有機栽培の野菜を、職員と利用者が一緒に収穫し、当日の食材としている。配膳や下膳も一緒にいき、同じテーブルを囲み利用者のペースに合わせ急がせることなく、食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日から土曜日の7日間を入浴日とし、各地の温泉入浴剤を用い利用者が入浴出来るよう工夫している。また、原則週2日を入浴日としているが、3日入る人や予定日の翌日入る人、午前と午後入る人もいる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの「出来ること、出来ないこと」を把握し、日常生活の中で掃除や食事の準備、隣接している畑の野菜の収穫等利用者の状態に応じた役割を担っている。また、塗り絵やカラオケを楽しんだり、開設以来のボランティアの人達とのコミュニケーションなど気晴らしの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日に隣家の犬を連れて散歩したり、年間の行事計画に基づく初詣、菖蒲園、家族と一緒に桜の花見やリンゴ狩り等のドライブにでかけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外出してしまう利用者がいるため、安全を最優先し日中も鍵をかけている。	○	自由な暮らしを支援するため、鍵を掛けない工夫をされるよう期待する。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急対応マニュアルを策定し、地域の人達の緊急連絡網が整備されている。消防署の指導を受けて、緊急時マニュアルに従って行動できるよう、利用者と共に避難訓練を年1回行っている。避難場所については、職員全員が周知している。また、防火管理者も選任されている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護支援専門員である管理栄養士が、献立表を作成している。栄養摂取量や水分摂取量がチェック表に記載され、一人ひとりの栄養バランスに配慮された支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間兼食堂には、食卓の他に2箇所ソファーが設置されたり、畳の部屋も配置されている。随所に季節の花が活けられている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、写真や塗り絵等が飾られている。居心地良く日常生活が送れるよう使い慣れた家具や身の回り品を持ち込むよう、面会時等に家族に話しているが、あまり持ち込まれていない。		使い慣れた家具等を持ち込み居心地良く日常生活が送れるよう家族への働きかけを引き続き期待する。